

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第56回 ビジネス文書実務検定試験 (28.7.3)

第1級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第56回 ビジネス文書実務検定試験 (28.7.3)

第1級 速度部門問題 (制限時間10分)

国の豊かさは、経済規模を表すGDP（国内総生産）で表されることがある。これは、国内で作られた商品とサービスの付加価値の総額で、一定期間ごとに区切って算出される。各国が毎年発表しており、成長率の把握や他国との比較が行いやすい。しかし、これまでに蓄えられた富が含まれず、環境に対する影響も反映されないため、豊かさの基準とすることには疑問の声もある。	30 60 90 120 150 174
そこで、2012年に国際連合は、新たにIWI（包括的な豊かさの指標）を発表した。付加価値ではなく、それを生み出す資本に着目していることが大きな特徴である。これには、教育やスキルを表す人的資本、機械やインフラの蓄積を示す人工資本、鉱物資源や森林から構成される天然資本の3つが含まれている。これらの分野を評価した数値で、豊かさを導き出すものである。	204 234 264 294 324 348
この指標を用いて日本の数値を求めると、アメリカに次ぐ2位という結果が出た。さらに、一人当たりの換算ではトップとなった。日本は、天然資源が豊かとはいえない。これを補うために、教育や技術分野を重視してきたことで人的資本の割合が高く、今回の結果に結びついた。また、以前から設備投資や公共投資が高い水準で行われたことにより、人工資本でも高い数値となった。	378 408 438 468 498 523
国の豊かさは、短い期間で形成されるものではない。我が国は、長い時間とともに、多くの人たちによって、現在の状況が作り上げられてきた。IWIではその点も考慮されており、長期的な持続性も重視されている。日本が将来に渡り豊かな国であり続けるためには、教育や技術などを重視し、インフラにおける投資や整備をすることが大切である。今後、指標の数値がどのように推移していくのか注目したい。	553 583 613 643 673 703 710